

獨協大学長殿

学外研修報告書

私は、学外研修員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

報 告 日	2026 年 4 月 10 日	所 属	法学部総合政策学科
職 名	准教授	氏 名	三谷 裕美  印
研修種別	1. 海 外 2. 国 内	研修種類	1. 長 期 2. 短 期
研修期間	2025 年 9 月 24 日 ～ 2026 年 3 月 23 日		
学外における主な研修機関および訪問先 立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構			
出張目的または研究題目 統一シラバスによるプロジェクト型英語科目の開発			
資 格 1. 2025 年度獨協大学学外研修員（派遣） 2. 本学承認の学外研修員（自費等） 3. その他（ ）			
大学から支給された費用（要清算書類）・補助金額			25 万円
研修内容（1. 研修経過の詳細 2. 研究成果発表の予定 3. その他 を記入）			
1. 研修経過の詳細			
(1) 研修の目的			
報告者は、学士課程における英語教育の体系的な接続を強化することを目的として、同僚教員とともに新たなプロジェクト型・発信型英語科目の設計と運営に取り組んでいる。			
多くの大学では1～2年次に一般学術目的英語（English for General Academic Purposes: EGAP）を学び、3年次以降に専門領域に特化した英語（English for Specific Academic			

提出先：所属学部長→学長→人事課

裏面につづく

Purposes: ESAP) へと移行する。しかし、両者の間には学習内容・学習方法・学習者の認識において乖離が生じやすく、体系的な学習経験として十分に接続されていないという課題がある。

本学全カリ英語プログラムで開発中のプロジェクト型英語科目は、この乖離を解消し、EGAP と ESAP を橋渡しする役割を担うものである。科目の特徴として、少人数対象の選択科目ではなく、学部・学科単位での必修科目で、数百名規模の3年生を対象に約30クラスを共通シラバス・共通教材で継続的に運営する大規模プログラムである点が挙げられる。

この大規模科目の設計と運営に必要な知見を獲得することを本研修の主目的とした。

(2) 研修内容

研修期間中、以下の二点を中心的課題として活動を行った。

① 立命館大学における大規模プロジェクト型英語プログラムの調査

立命館大学では、2007年より大規模なプロジェクト発信型英語プログラムを継続的に実施している。本研修では、同プログラムの受け入れ承諾を得て、半期にわたり週に一度、びわこ・くさつキャンパスで定期的に授業の観察を行った。

併せて、科目コーディネータ及び授業担当教員への聞き取りや、提供を受けた資料に基づき、以下の内容を調査した。

- ・ 成績評価およびフィードバックの運用方法
- ・ 同一科目を担当する複数教員へのFD (Faculty Development) 活動
- ・ 英語科目担当教員と専門科目担当教員との連携体制
- ・ プログラム全体の組織運営および教材・カリキュラム設計プロセス

これにより、大規模プロジェクト型英語科目を安定的に運営するための実践的知見を得ることができた。

② 生成AIの教育的活用に関する検討

近年急速に普及する生成AIについて、プロジェクト型英語科目における適切な活用方法を検討した。具体的には、研修先および他大学の事例を参照しつつ、以下の観点から分析を行った。

- ・ プロジェクトのどの段階で生成AIを使用させることが、学習者の学術的スキル・言語スキルの向上に寄与するか

- ・ 生成 AI の利用が学習成果に与える影響
- ・ 国内外の文献調査による理論的枠組みの整理

これらの検討結果は、今後の科目開発に直接的に反映させる予定である。

2. 研究成果発表の予定

研修期間中にすでに発表した成果と 2026 年度の発表予定について以下記載する。なお、本研修中に取り組んだ調査研究は、JSPS 科研費 23K00751 (2023-2025 年度) の助成を受けて共同研究者とともに進めている研究プロジェクトに深く関わるものであり、記載の成果はいずれも共同研究として公表している。

(1) 研修期間中に発表した成果

- ・ 三谷裕美・寺川かおり・渡邊一弘・飯島優雅 (2026). 統一シラバスによる経済学・経営学専攻 3 年生向けプロジェクト型必修英語科目実施初年度の実践と検証. *獨協大学外国語教育研究所紀要*, 14, 123-141. (論文)
- ・ 渡邊一弘・飯島優雅・三谷裕美・寺川かおり・木村雪乃 (2026). SWOT 分析を用いた英語による研究プロジェクト—経済・経営専攻学生のための EGAP 科目—. *JAAL in JACET Proceedings*, 8, 35-36. (予稿論文)
- ・ 三谷裕美・渡邊一弘・寺川かおり・飯島優雅. 統一シラバスによる経済学専攻 3 年生向けプロジェクト型必修英語科目開発—実施初年度の実践報告. 大学英語教育学会 第 64 回国際大会 (東京), 2025 年 8 月 28 日. (口頭発表)
- ・ 渡邊一弘・飯島優雅・三谷裕美・寺川かおり. SWOT 分析を用いた英語による研究プロジェクト—経済・経営専攻学生のための EGAP 科目. 第 8 回 JAAL in JACET 学術交流集会 (大阪), 2025 年 12 月 7 日. (口頭発表)

(2) 研修後の発表予定

- ・ 渡邊一弘・木村雪乃・寺川かおり・三谷裕美・飯島優雅. プロジェクト型英語科目における口頭発表評価ルーブリックの信頼性の検証と活用実態の分析. 大学英語教育学会 第 65 回国際大会 (京都), 2026 年 8 月. (口頭発表)

このほか、2026 年度中に獨協大学外国語教育研究所紀要や JACET 関東支部紀要などに論

文を投稿する予定である。

特に、大規模プロジェクト型英語科目の設計・運営に関する実践知、および授業活動内での生成 AI 活用に関する分析は、国内の大学英語教育においても有益な知見として寄与するものとなることを目指している。

3. その他

研修先の立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構より 2026 年度も客員研究員としての継続を要請されており、今後も情報交換および共同研究を通じて連携を深めていく予定である。